

事業番号	①	王寺町デジタル人材育成事業		個別事業費	2,000 千円
				交付金額	1,500 千円
地域の実情と課題 当町は、奈良県の北西部に位置し、大阪市内への利便性も高く、県外就業率が、県内2位となっている。このエリアの拠点となる王寺駅は、ターミナル駅である。駅前には多くの事業者が集積し、その主な事業者は第3次産業で全体の90%を占めている。この第3次産業事業者には、中小企業、小規模事業者（IT化の遅れ・IT人材不足）が多く、事業推進に必要な人材が不足している状況である。特にIT等の技術習得が必要な事業所も多い。		目的・目標 王寺駅前には中小事業者が集積しているが、その規模ゆえ、IT技術を持つ人材の不足が課題である。これを解消するため、デジタル人材の発掘・育成・活躍の場の創出する。この事業は、商工会等と連携して中小の事業者への就職や派遣等を行い、地域内で仕事を循環できる環境づくりを目的に考えている。			
事業の特徴 王寺駅は、奈良県の西和地域の拠点となるターミナル駅で、この駅前には、デジタル田園都市構想事業で地方銀行跡地にテレワークオフィス（テレワークオフィス、ITプログラミング教室、事業者交流会等）を開設した。利便性が高く、周辺には、学童、一時託児、小規模保育園等もあり、子育て世代の母親が、働きかけと働きやすい環境にある。ここを拠点に、デジタル人材の発掘と育成を進め、駅前に集積する中小事業者（IT化の遅れている事業者）と連携しながら事業の活性化、地域経済の発展を目指すともに女性の就業・起業の機会と活躍の場を増やしていきたい。		連携団体 奈良労働局、王寺町商工会と連携し、就業や起業の支援			
事業の効果 15名募集のところ39名の応募があり、ニーズが高いことが証明された。うち1名の就職につながった。		今後の課題 受講者のPCスキルには差があったので、令和6年度は初級、中級のクラス分けを行う。実際の就業、起業につながるよう、就職希望者には、令和5年度も実施したビジネスマッチングの引続きの実施や、令和6年度は、奈良労働局と連携した職業体験等を実施していく。			

事業の概要

ビジネスの現場で役立つITスキルを身につける講座 PCやインターネットに関する一般知識から情報モラル、セキュリティ、コミュニケーションツールの活用方法を学んだのち、各受講生の興味や関心、既存のスキルを活かした個別対応カリキュラムにより収入を得るためのサービス設計を行い、スキルアップを図る。オンラインによる学び直しが可能。就業・起業に向けて企業とのマッチングに繋げていくことを最終的な目標とする。

▶令和5年9月2日～令和6年2月3日の間に20回開催 定員15名 応募39名
選考基準 再就職を希望されている25才から44才を重視

カリキュラム

第1回～3回 Word, Excel

第4回～6回 関数

第7回 Excelでの資料作成

第8回 グラフ作成

第9回 データ集計

第10回 前半まとめ 本格的なデータシート作成

第11回 メールについて

第12回～16回 Excel VBA

第17回 Google検索とAI

第18回～19回 PowerPoint

第20回 企業との就業・起業にむけたビジネスマッチング

